

# iPad を活用した 英語による海外旅行提案コンテスト

橋本 昌代／稲川 孝司

## 1. はじめに

大阪府立東百舌鳥高等学校は、2011年に大阪府教育委員会から English Frontier High School (以後 EFHS) に指定された。大阪府内の 24 校が 3 年間研究校として指定された EFHS は、国際社会や今後の時代を見据えた上で、確かな学力を育むことに加え、将来、社会の中で自立できる力や態度を身につけさせることを目標にしている。

研究校においては、高校生の英語コミュニケーション能力のさらなる向上を図るために、指導法の研究、学習機器の活用、英語ルームの整備、英語特設レッスンの開設、話せる英語が使える教材作り、などを研究し、成果を発信し共有する Osaka English Forum を開催している。

読む・書く・聞く・話すの 4 技能を伸ばす試みとして、「実用英語」の授業において EFHS の予算で導入された iPad を使用して、2012 年 4 月から授業を開始し 6 月に研究授業を実践した。

研究授業では 4 つの旅行代理店を作り、それぞれの代理店社員に扮した各生徒が、iPad 上の Keynote を活用して 3 分間の「お勧め海外旅行」をプレゼンテーション(以後プレゼン)した。生徒たちは良いプレゼンを目指して各自が努力することに加え、グループとして互いに協力した。授業の最後に、他の旅行代理店よりも魅力的なプレゼンを多く行った代理店及び最優秀プレゼンターを表彰することとした。

## 2. 授業のねらい

英語でのコミュニケーション力養成が「実用英語」の第一目標であるが、研究授業実施に向けて、以下の 4 つのねらいを掲げて授業を組み立てた。

### (1) 発表力・表現力の向上

iPad の可搬性を生かして、実社会で通用するプレゼン能力を育成する。

### (2) 4 技能(読む・書く・聞く・話す)の向上

4 技能をバランス良く伸長させる。

### (3) 国際的視野を広げる

トピックを「海外旅行提案」として、広く諸外国の文化や歴史に生徒の目を向けさせる。

### (4) 協働学習力の育成

生徒同士の相互評価を通して、共通の目標に向かってグループ内で協力しながら学ぶ姿勢を育てる。

## 3. 準備

### 3.1 事前準備

「お勧め海外旅行」と言っても、当初、外国の都市名・国名・所在地や特色がわからない生徒が多かったので、国際的視野を広めるため背景知識の獲得から始めた。また、発表で用いる表現や発表形式を体得させるため、教員によるプレゼン「Let's go to Hawaii」の内容を暗唱させ、発表力・表現力の向上を目指した。

以下に事前準備で行った活動を示す。

- (1) 世界各地の国名と首都名を地図上で確認後、グループで国名と首都名・地図上の位置を一致させるカードゲームをし、それらを覚える
- (2) iPad の使い方の学習
- (3) 地図上で確認した国々について、iPad 上で写真や動画で確認
- (4) 教員による模範プレゼン「Let's go to Hawaii」で
  - ① プレゼン内容把握のための英問英答(読解力強化)
  - ② ディクテーション(聞く力の強化)
  - ③ 話の流れ順に写真の順番を並べ替えるピクチャー並べ替えゲーム(読解力強化)
- (5) 「Let's go to Hawaii」の発音練習と iPad を利用した録音(話す力の強化)
- (6) 「Let's go to Hawaii」の暗誦発表会(表現力の強化)と相互評価

### 3.2 発表準備

- (1) 興味がある外国について iPad で情報収集
- (2) 旅行代理店社員として、お勧めする国(都市)と、その国を勧める3つのポイントを決定
- (3) 日本語で発表内容を作成
- (4) 英語による発表原稿を作成
- (5) ALT による英語原稿のチェックと発音指導、iPad を用いた録音(練習前と練習後の伸びを計るため)
- (6) iPad 上の Keynote を用いてスライドを作成
- (7) グループワーク(グループ内での相互評価・及び意見交換)

### 4. 研究授業

生徒は4つの旅行代理店に分かれ、その社員として一人3分で夏の海外旅行を提案した。個人として最優秀プレゼンターを目指すとともに、グループとして、最優秀代理店の座を目指して競い合った。

当日の流れを、以下に示す。

- (1) iPad を用いて発表原稿の録音(5分)  
[初回録音時と比較し、上達度を自己評価するとともに、ALT にもその伸びを評価してもらうため]

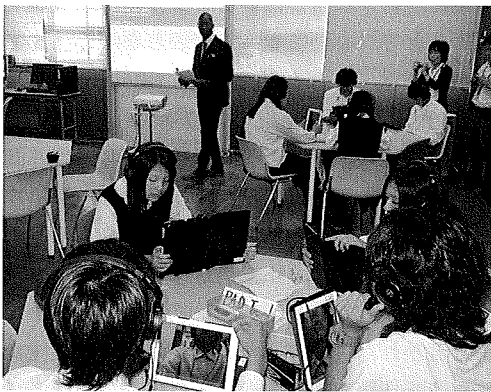


写真1 プレゼン内容を録音中の生徒

- (2) ペアワーク(15分)

ペアワークでは、自分が所属する旅行代理店メンバー以外の生徒にプレゼンをして、より多くの現金(東百舌鳥\$)を得ようと励んだ。

各自 iPad を持ってペアワークの相手(他の代理店の社員)を探し、ジャンケンをする。勝った方が、プレゼンター、負けた者がリスナーとなる。プレゼンターは、iPad を操作しながら「お勧め旅行」のプレ

ゼンをする。リスナーは、プレゼンを聞き、その内容(3つのお勧めポイント)をワークシート(図1)に書き取る。ワークシート記入後、リスナーは、プレゼンの内容に応じて、1\$(東百舌鳥\$)または2\$(東百舌鳥\$)をプレゼンターに渡す(3分以内にプレゼンが終わらなければ何も渡さない)。プレゼンの内容を正しく聞き取っていた場合、プレゼンターは、リスナーに、1\$渡してペアと別れる(正しく聞き取れていない場合は、何も渡さない)。3分後に教員の指示に従って、次のペアを探す。

各生徒は、旅行代理店社員として、より多くの東百舌鳥\$獲得にむけてプレゼンに励んだ。



写真2 ペアワークでプレゼンする生徒たち

- (3) グループワーク(15分)

次に、代理店毎にグループを作り、グループ内で一人ずつ順番に iPad を操作しながら再度プレゼンする。メンバーは、評価シート(図2)に評価を記入。グループ全員の発表終了後、評価シートに基づき、話し合いでグループの代表者を決定する。

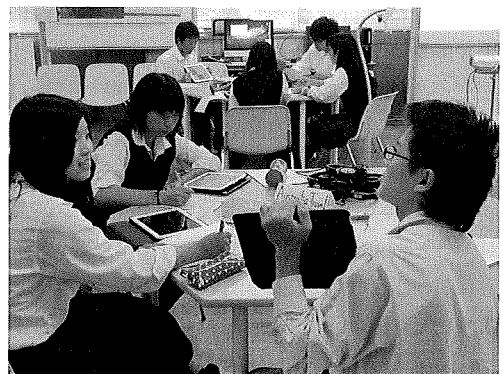


写真3 代理店でのグループワーク

#### (4) コンテスト(15分)

各代理店の代表者は、教室前部の発表席に移動し、iPadを手元で操作し、スクリーンに画像を映し出しながら、演台でマイクを用いて一人ずつ発表する。ここではiPadとApple TVによる画像転送機能を用いて、発表する生徒が無線で自分の画像をプロジェクタに映している。全発表終了後に、iPadからmoodleサーバーの投票システムを使って最も良かったと思う発表者に投票し集計した。

#### (5) 表彰

ここでも、代表者が1票獲得する毎に各旅行代理店が1\$獲得する。ペアワークで獲得した額(\$)と合計し、最も多額の東百舌鳥\$を獲得した代理店が最優秀代理店となり、表彰される。

さらに、全体で最も多く得票した生徒は、最優秀プレゼンターとして表彰される。

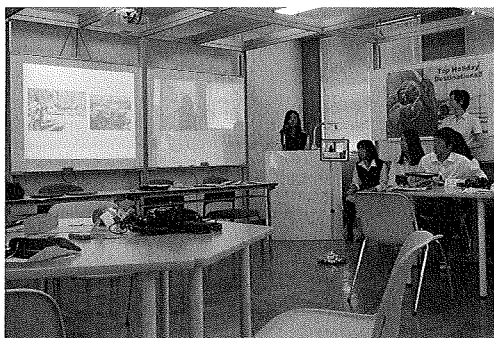


写真4 最優秀者によるプレゼン

### 5. 振り返り

研究授業の次の時間の授業では、研究授業当日グループ代表に選ばれなかった生徒に一人ずつ前に出て発表させ、相互評価した。

また、この取り組みを始めて最初に録音した自分のプレゼンと、最後に録音したプレゼンを比較し、各生徒が自己評価した。そして、プレゼンに向けた取り組み全体を振り返り、「読む」「書く」「聞く」「話す」の4技能の伸長を自己評価した。

最後に、日本人教員とALTから、今回の取り組みについてコメントした。

### 6. まとめ

3分間の英語「お勧め旅行」プレゼンを公開授業

で実施する事に対し、生徒は当初かなり大きな不安を抱えていたことが、コンテスト後にとったアンケートからも分かった。しかし、取り組み後の自己評価は高く、4技能全てにおいて、英語力の飛躍的向上を殆どの生徒が実感していた。

iPadの録音機能を用い、練習前と練習後の自分の成長を確認出来たことが自信につながった。またiPadの可搬性とプレゼン機能を利用し、実際にビジネスの場で行われているような英語でのプレゼンが出来た。

以下、最初に設定した4つの目標の検証をする。

#### (1) 発表力・表現力の向上

暗唱した教員作成プレゼンを土台に、自分で作成した英文を、暗唱・発表した。あらかじめモデル原稿を暗唱していたことで、自力で発表英文を作成する事ができた。「この表現は、ドリルで100回練習しても覚えなかったと思う」と言いながら、現在完了構文を駆使した英文で発表した生徒もいた。

研究授業に至るまでに、モデル原稿の暗唱発表→相互評価→自作原稿のグループ内での発表→相互評価と意見交換→全体に向けての発表、という手順を踏むことで、より効果的な発表が出来るようになった。また、自分が言いたいことを、自分の英語で発表することで、心のこもった発表となった。

#### (2) 技能(読む・書く・聞く・話す)の向上

教員のモデル原稿を用いての活動(リスニング練習「聞く力育成」・内容のスキミング練習「読む力育成」、原稿の暗唱「話す力の育成」)が良いウォーミングアップとなり、その後の活動をスムーズに進めることが出来た。

インターネットを利用して、紹介する国について英語で書かれた資料を読むことで、初見の英文から必要な情報を読み取る力が養われた。

紹介したい内容を、ALTの助けを得ながら英語にすることで、意欲的に英作文に取り組み、書く力が向上した。

他の生徒が発表する内容を聞き、ワークシートに記す作業を通して、ポイントを聞きとる力がついた。

iPadに録音することで、発音の上達を自分で確認出来た。ALTに発音指導を何度かしてもらい、グループ内で互いにチェックし合うことで、積極的に発音練習に取り組む姿勢が育った。ペアワークでは、リスナーは、発表者に内容について英語でコメント

